

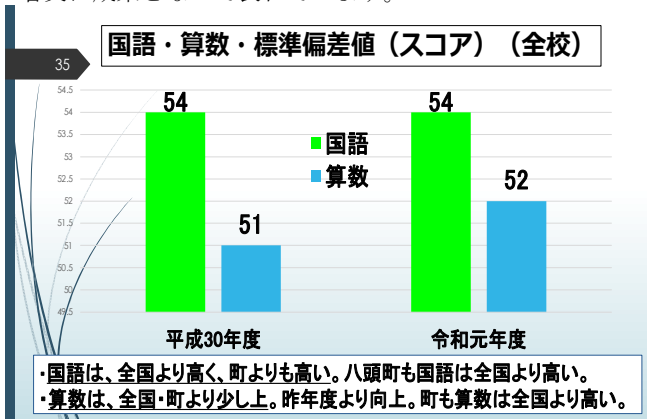


○今年の成果から次年度の課題を ～ 「書く力」の更なる向上には、「読解力」の向上が必須です ～

本当に雪の降らない今年の冬です。「記録的な暖冬」という言葉の通りの冬です。その原因の一部は、前回の学校便りでも記したとおり「地球温暖化」があると思います。思えば、「記録的な」という言葉が、頻繁に使われるようになりました。そんな時代です。（日本の四季は、何処へ。）

さて、本年度の児童の学力状況について、2月15日の参観日でお知らせしますが、その前に、学校便りを通じて状況を少しお伝えします。

本年度も町より経費等を支出いただき、「東京書籍・標準学力検査」を12月に実施しました。その結果が、1月中旬に学校のみWEB上で見ることができ、結果を確認しました。本年度も、昨年度からの取組が着実に成果となって表れています。



左のような結果となっています。

昨年度の国語・算数の標準スコアと比べると、国語は変わらず全国・八頭町と比べても高い数値となっています。また、算数も本年度、校内の取組として強化し、わずかに1ポイントですが、昨年度よりあがっています。

また、グラフを掲示しませんが、国語・算数の「基礎」「活用」領域別スコアでも、

国語 基礎：53.7 活用：52.9 算数 基礎：52.0 活用：50.8と全校の数値平均は、全国より高い結果となっています。多少、学年で差はありますが、全ての学年が「大変良好」「おおむね良好」という結果になっています。詳しくは、15日の参観日で示します。

今回の結果を見ても明らかのように、標準学力検査で見る国語の力は、安定しています。昨年から進めている「書く力」の向上を意図した授業が、子供たちの国語の学力向上につながっています。そして、「書く力」を基本にした取組は、来年度から始まる新学習指導要領の目指す「主体的・対話的で深い学び」にもつながります。主体的であるために、自分の考えを持ち、そのために先ずは、「書く」ことで自分の考えを整理しまとめる。それをベースに、他者と対話する。そして、みんなで深める。「書くことは考えること」「考えることは書くこと」将に、その通りです。しかし、「書く力」は育っていても、正しく・的確に情報を読解しているか・読み取っているか。そこが問題です。いくら「書く力」は伸びても、正確に読み取っていないはいけません。確かな「読解力」がなければ、誤り・虚偽になります。しかし、学校便りNo.27で紹介したOECDのPISA調査の結果で、義務教育終了段階での生徒の「読解力」は、前回2015年調査の8位から、2018年調査では15位に低下しています。

なぜ、これほど「読解力」にこだわるかは、子供たちにとって是非とも必要な力だからです。「読解力」とは、「あらゆる形の文章を読んで、意味を正しく理解する能力」です。文章とは、決して国語や英語の文章だけでなく、新聞や本、インターネットの文やメールなどがあります。更に言えば、画像や映像だったり、日常の会話や表情、その場の雰囲気なども、「読解力」を必要とする情報です。つまり、相手とのコミュニケーションも「読解力」を必要とします。いわば、将来生きていくための基本の力と言えます。

相手や他者の意図や考え・気持ちを理解する力が、「読解力」といえます。

では、「読解力」をのばすには、何が必要か。基本は、「語彙力」次に「要約力」「思考力」があげられます。中でも基本は「語彙力」です。「語彙力」とは、「多くの種類の単語を知っている力」「文字や語彙を認知する力」です。しかし、今のICTの発達の中で、SNSが頻繁に利用され、短縮した言葉や記号や絵などが使われ、日常的に正しい日本語に触れる機会が減り、正しい日本語を使わない、覚えない、知らない、その結果、語彙力が低下するという悪循環になっています。言葉の意味を知らなければ、文章の内容も理解できませんし、文章を作ることもできません。

そこで、保護者のみなさんに考えていただきたいのは、子供たちの日々の生活の中で、正しい日本語に出会う機会や生活を大切にしてほしいということです。子供たちが小学校に入学するまで、生まれてから語彙を獲得するのは、「身近な環境」からです。親や身近な年長者（保育園など）、親族や近所の人からです。また、テレビや最近ではゲームなどもあります。もちろん、子供の成長に不適切な語彙があることも御存知かと思います。学校と家庭と連携して子供たちの語彙力を育てましょう。

これからの時代を生きていくために必要な「読解力」の根底・基礎をなすのは、「語彙力」です。

（なお、裏面には、「要約力」「思考力」についても触れています。）

「要約力」：文章の要点をつかんでわかりやすくまとめる力

＝文の事実を読み取って要約する力。「つまり、・・・・・・」と表現できる力。

「思考力」：考える力・関係づける力

＝文章を様々な角度から読み理解し、自分自身の知識や経験に関連づける力

・「要約力」も「思考力」も、文章を読み、正しく理解できること、つまり、「読解力」が前提です。



○毎朝の全校マラソン、今も続けています。

～ 冬を迎え、グラウンドから体育館に場所を変えて継続しています。 ～



毎朝、12月までは登校後、雨の降らない日は校庭を走っていました。しかし、今は登校後、全員が体育館に集合し、5・6年の高学年は2階のギャラリーを、4年生以下は、低学年・中学年フロアを内側と外側の二重円に分けて走ります。子供たちもこの生活に慣れてきたようで、登校後は速やかに体育館に行き、靴や荷物を学年別の所定の場所に置き、元気よく走っています。もちろん、個人個人で周回数は異なりますが、目標を持って走っています。

学期始めインフルエンザが流行し、1週間ほど自粛しましたが、現在は、インフルエンザの流行も落ち着き、インフルエンザによる欠席児童もありません。この2週間、実施しています。いつもは少し寂しそうな体育館も、今は、朝から全校児童の声と元気な足音が響き、活気に溢れています。全校児童141名には十分すぎる広さのある体育館を、毎朝、室内マラソンで活用しています。すばらしい八東小学校の恵まれた環境を、朝からフル活用しています。さあ、下の距離を目安に何周走りますか。

Q質問：2階のギャラリーは、1周何メートルあるでしょう。また、体育館のフロアは1周何メートルあるでしょう。

答え フロアの1・2年生コース 約100m 3・4年生コース 約110m
2階ギャラリーの5・6年生コース 約130m でした。(校長計測)

○2月15日(土)は本年度最後の参観日

～ 第2回学校保健委員会・学校説明会・学年懇談会・代議員会を予定しています ～

【 日程 】

- | | | |
|-----------------------------|-------------|-------------|
| ・公開学習 (各教室) | 授業参観 | 13:00～13:45 |
| ・全校音楽発表(体文2階・遠見山アリーナ) | | 13:55～14:05 |
| ・第2回学校保健安全委員会(体文2階・遠見山アリーナ) | | 14:10～15:20 |
| ・テーマ：子供たちの健やかな成長に向けて | | |
| ・家庭でできるストレッチの実技(児童全員参加) | ⇒児童下校 | 15:05の予定 |
| ・本校及び県児童の現状と課題 | | |
| ・講師：県教育委員会体育保健課 諸鹿 馨 指導主事 | | |
| ・学校教育説明会(体文2階・アリーナ) | | 15:20～15:50 |
| ・1年間の取組の成果と課題 | | |
| ・学級懇談会(各教室) | | 16:00～16:45 |
| ・教育の会・代議員会(校舎3階・多目的ホール) | | 17:00～17:30 |



※本年度の最後の参観日です。軽いストレッチ運動もあります。ズボンなどでストレッチ運動のできる服装で参加下さい。

マスク着用での参加をお願いします。最後まで御参加、どうぞよろしくお願いします。

○「新型コロナウイルス」への対応・対策について

ニュース等でも報道されるとおり、日に日に拡大している状況になっています。学校としても情報を確認しながら対応していきます。基本は、インフルエンザと同じように、次の点を確実に守って下さい。

- マスク着用(複数枚数を準備しておく)
- うがい・手洗いの徹底(帰宅後の洗顔なども)
- 不特定多数の集まる人混みは避ける・行かない

※いつものことを、いつものようにきちんと守ること・徹底することが大切です。感染予防の基本は変わりません。今後の情報に十分に注意をお願いします。



○全国学校給食週間を終えて

～ 1月24日(金)～30日(木) ～

今、校長室前に明治22年から平成30年までの給食メニュー写真が掲示されています。明治22年・山形県で始まった給食の献立は、おにぎり・塩鮭・菜の漬け物です。実にシンプルです。戦後には、昔懐かしい脱脂粉乳もあります。

飽食の時代を生きる子供たちの目には、この写真はどうか写っているのでしょうか。この写真を見ながら、日々の食に感謝することを忘れてはいけないと思います。実は先日、1年生児童全員が、校長室前のこの写真を見ながら学習していました。